



加古川市立山手中学校 学校だより

令和8年6月26日（不定期発行）

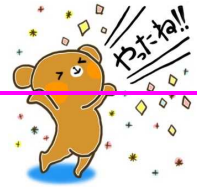
自主創造
親和協調
感恩奉仕

中体連総体市内大会終了！

6月19日（陸上は13日）～、市内総体がおこなわれました。3年生にとって引退をかけた最後の大会です。これまで培ってきたものをその一瞬にかける姿は輝いていました。東播に進む人も引退の人も、「次のステージ」に向けて頑張ろう！

【市内大会結果】

* 剣道	男子団体：準優勝	
	男児個人：	第3位 ベスト8
* 陸上	共通走幅跳	第1位
	共通400m	第3位



◆ 作品紹介『銀河鉄道999』 ◆

『銀河鉄道999（スリーナイン）』は、『宇宙戦艦ヤマト』『キャプテンハーロック』などを手がけた漫画家松本零士さんによる、1980年ごろの作品です。特に、ゴダイゴさんによる主題歌は有名ですね。

そしてこの作品は、少年が旅を通じて**命の尊さ**を知る精神的成長の物語となっています。

舞台は、裕福な人々が機械の体を手に入れ、永遠の命を謳歌している未来の世界。貧しい少年、星野鉄郎（ほしの てつろう）は、生身の人間を人間狩りの標的とする「機械伯爵」に母親を目の前で殺されます。母の遺志を継ぎ、無料で機械の体をくれる星へ行くため、鉄郎は宇宙列車「銀河鉄道999」の乗車券を求めて奔走します。

そんな彼の前に現れたのが、亡き母に生き写しの謎の美女メーテル。彼女から999号の定期乗車券をもらった鉄郎は、メーテルと共に果てしない宇宙へと旅立ちます。

様々な星を巡り、多くの出会いと別れを経験する中で、鉄郎は「永遠の命（機械の体）を持つことが本当に幸せなのか」と葛藤し始めます。

しかも、終着駅にたどり着いた鉄郎を待ち受けていたのは、機械化世界の恐るべき真実（＝機械の体をもらうということは、生きた人間がネジや建物の礎石といった部品として生贄（いけにえ）にされること）と、メーテルの正体（メーテルの母である機械帝国の女王の命令により、「部品となるための優秀な人間の少年」を宇宙中から集めて終着駅へと連れてくる案内人）でした。

鉄郎は苦悩の末に「**限られた命だからこそ、人は精一杯生きられる**」と気づき、人間のままで生きることを決意します。

ひとつしかない「命」のあり方について考えることはとても大切なことです。自分を大切に。周りの人も大切に。そして、かけがえのない、二度と戻らない「今」という時間を大切にしながら過ごしましょう。

